


環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成23年 2月 3日

## オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

プロジェクト名 <sup>1</sup>			
福岡県・株式会社フチガミ廃食用油由来バイオディーゼル燃料活用プロジェクト			
【依頼者】プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	株式会社フチガミ(カブシキガイシャ フチガミ)		
住所	福岡県久留米市津福本町2300—10		
代表者氏名	淵上 健敏	代表者役職	代表取締役
担当者氏名	檜橋 保	担当者 所属部署・役職	管理課課長
担当者 E-mail	narahashi@fuchigami.co.jp	担当者電話番号	0942-38-5283
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	株式会社フチガミ		
プロジェクト参加者名			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	株式会社フチガミ(カブシキガイシャ フチガミ)		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。		
妥当性確認機関			
妥当性確認機関名	株式会社トーマツ審査評価機構		

<sup>1</sup> プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□(排出削減技術)を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

プロジェクト情報	
プロジェクト概要 <sup>2</sup>	<p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p><b>【プロジェクトの目的・内容】</b></p> <p>株式会社フチガミ(以下、当社という。)は、九州7県及び山口県・広島県にて産業廃棄物の収集運搬・中間処理業及びリサイクル業を営んでいる。</p> <p>当該事業の一つである廃食用油のリサイクルを通じて、軽油の代替燃料としてカーボニュートラル燃料を製造し、温室効果ガスの排出量を削減することを目的に、2008年4月から農林水産省バイオ燃料地域利用モデル実証事業として、バイオディーゼル燃料の製造・活用を開始した。</p> <p>本プロジェクトは当社が学校給食・外食産業・飲食店等から排出される廃食用油を回収し、良質な BDF(B-100、B-5)を自社で製造している。またその燃料を自社収集運搬車両に活用することにより温室効果ガス排出削減に貢献するものである。</p> <p><b>【適格性基準との整合性】</b></p> <p>プロジェクト計画書は方法論 SS-E004 の適格性基準と対応し、参照資料と一致している。</p> <p><b>【法令遵守状況】</b></p> <p>プロジェクトに関連する法令は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「消防法」「道路運送車両法」「揮発油等の品質の確保等に関する法」「石油の備蓄の確保等に関する法」「地方税法」「産業廃棄物処理施設の設置許可」が挙げられ、それらについては遵守している。(資料は計画書参照)</p> <p><b>【採用技術】</b></p> <p>メタノールを用いたエステル交換方式を採用している。</p> <p><b>【モニタリング方法】</b></p> <p>年1回を予定。</p> <p><b>【GHG 算定式の方法論への準拠性】</b></p> <p>条件 1: 精製される BDF 原料である廃食用油は、一般家庭や飲食店等で使用された植物性の廃食用油であり、プロジェクトが無い場合には、家庭用一般ゴミあるいは産業廃棄物として処理されて、エネルギーとして利用されていない。</p> <p>条件 2: BDF の精製方式はメタノールを用いたエステル交換方式である</p> <p>条件 3: 当該プロジェクトで使用される車両 43 台(廃車された車両を含む)については、精製される BDF により代替される車両等の燃料は、軽油である。</p> <p>条件 4: ①2009年2月以降年4回B5試料の分析を行っている、分析結果により揮発油等品確法の強制規格に準拠している。</p> <p>②2008年4月以降、年1回BDF試料の分析を行っている、分析結果によりプロジェ</p>

<sup>2</sup> プロジェクト概要は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC 体制等に関することを 2 ページ以内で具体的に記述してください。

		<p>クト内で使用される BDF は、全国 BDF 利用推進協議会モニタリング規格を満たしている。</p> <p>条件 5: 自動車検査証により、43 台(廃車した車両を含む)の車両は道路運送車両法に規定される公道を走行する車両であり、軽油と廃食用油燃料兼用であることが確認できる。また、BDF 燃料を使用する車両は、日常点検表(B100 車両影響チェックシート)と3ヶ月毎の点検整備記録簿により管理しており、トラブル発生時にも迅速な対応が取れるよう車両データを管理している。</p> <p>【モニタリング体制】</p> <p>ISO14001 環境マネジメントシステムの中で、J-VER制度における役割、責任権限と整合できるようにする。</p> <p>【QA / QC 体制】</p> <p>QA、QCについても、ISO14001 環境マネジメントシステムの中でマニュアル化し、管理している。</p>					
プロジェクト実施場所		(プロジェクト実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。) 福岡県久留米市津福本町 2300-10					
<方法論 R001-R003 のみ>							
プロジェクト対象面積							
プロジェクト期間		2008 年 4 月 16 日 ~ 2013 年 3 月 31 日( 5 年 ヶ月)					
クレジット期間		2008 年 4 月 16 日 ~ 2013 年 3 月 31 日					
プロジェクト計画開始 届提出日		2010年10月 1日					
妥当性確認終了日		2010年12月20日					
想定削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO <sub>2</sub> <sup>3</sup>	193	316	179	316	316	1320
適用モニタリング方法 ガイドライン		オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン ( 排出削減 プロジェクト用) ver. 2.3					
適用方法論		方法論番号	No. SS-E004 ver. 5.0				
		方法論名称	廃食用油由来のバイオディーゼル燃料の車両等での利用				
ダブルカウントの防止措置							
ダブルカウントの防止 の措置を講ずる事業 者		(プロジェクト代表事業者と同一の場合は記入不要)					印

<sup>3</sup> 小数点以下は切り捨てとし、トン単位で記載してください。よって、小数点処理のため、表記上では単年度の削減量・吸収量の合計と、各年度合計量が異なることもあり得ます。

公的な報告・公表制度 (判明している公的制度)	該当なし プロジェクト事業者は他の制度に対して、排出削減量を主張しない。
自主的な報告・公表対象 (対象となるホームページ、環境報告書等)	プロジェクト事業者は取得したオフセット・クレジットを他社に引き渡した場合、ホームページ等で自社排出量の削減が行われたといった主張は行わない。
備考欄	

以上